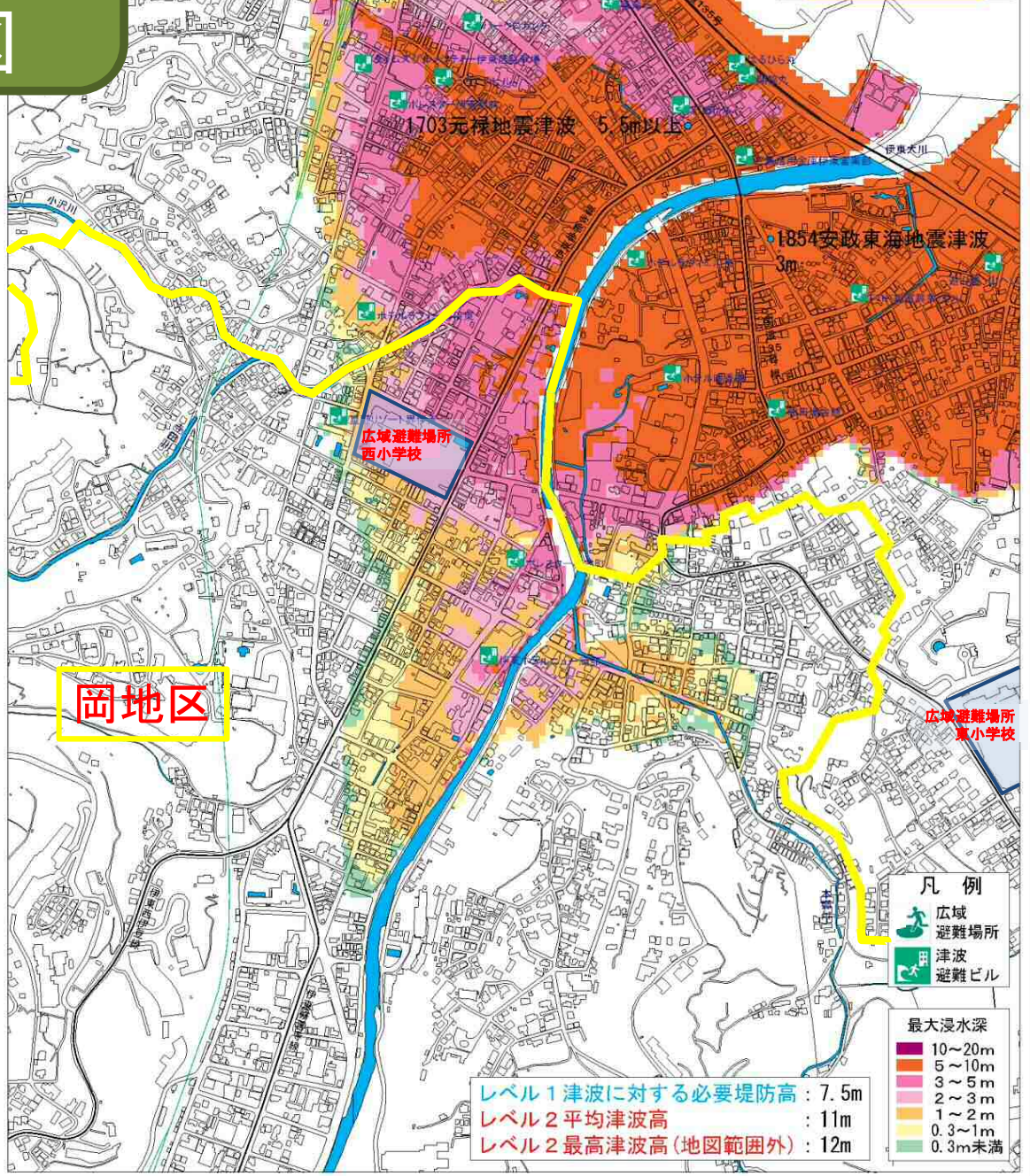




# 岡地区 意見集約 平面図

**【堤防整備】岡地区の方針**  
堤防整備の基準となるレベル1津波による被害がほとんどないことから、岡地区としては堤防整備(高さ、位置)についての議論に参加せず、他4地区で決定した方針に合意する。



相模トラフ沿いの最大クラスの地震(レベル2)最大浸水深図(m)

レベル2津波の平均発生頻度は2千年から3千年と推定。  
過去の津波の典拠：津波痕跡データベース(東北大学・原子力規制庁)  
この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基盤地図情報を重ね合わせた参考図です。  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。(承認番号 平26情使 第861号)

避難ビルを増やす

公共の建物を避難ビルに

津波避難ビルに、備品の提供はできないか

西小学校は2F、3F、屋上  
が避難場所

津波避難誘導の路面標示

避難場所の方向、距離、  
名称を表示する

夜間の避難時の照明の整備(停電時の対策)

避難の街灯

土砂災害特別指定地域である瓶山を部分的にでも避難ができるようにできないか

避難場所、避難路の確保がむずかしい

車で逃げないこととする。  
5分は無理

高い所に逃げる(岡にいれば)

地区ごとに発電機をおく

西小学校に投光器

バックホウの確保

備品の整備不良

地域企業に防災備品等の備蓄をお願いする

自分の地区に防災倉庫がない

エリア外に住んでいると意識がうすい

住民の名簿等の整備手段

要支援者台帳保管を地域の組長単位で行う

要支援者の安否確認をどのようにするか心配である

細かい情報を行政から入れる

意識づけ-訓練

地域の防災訓練で意識を持たせる

日頃から避難準備を

個人の意見と知識の向上を何かの形で教育していけないか?

壊れそうな家を撤去

電話回線とメールが混雑した時に利用はできるのか?

堤防の低い個所のかさ上げ工事の実施(わかつき別邸付近は対岸の堤防の高さより低い)